

おしゃかさまのたんじょうび

花まつり



『花まつり』とは？

4月8日は、『花まつり』と言い、お釈迦さまがしゃかお生まれになった日です。お釈迦さまは、今からおおよそ2500年前の4月8日にネパールのルンビニーでお生まれになりました。

お釈迦さまは、生まれてすぐに立ち上がり、七歩歩いて、右手は空の方、左手は地面の方を指差して「てんじょう てんげ ゆいがどくそん さんがいかいく天上天下唯我独尊三界皆苦がどうあんし我当安之」と叫ばれました。「天上天下唯我独尊」とは、「世界中で私はたった一人の、大切に尊い存在である」という意味で、「三界皆苦我当安之」は「この世で苦しみ悩んでいる人々を幸せにしたい」というお釈迦さまのすばらしい宣言でした。

この時、あまりの尊さにすべての花は咲き乱れ、空からも甘い雨が降ったということから、『花まつり』ではお花を飾り、甘茶をかけるようになりました。

『花まつり』は生きとしいけるものの命を尊ぶ日です。民族や宗教を超えて、生まれてきたことを喜びお祝いしましょう。

日時 平成28年4月9日(土) 午後2時より

場所 新京極六角・ろっくんプラザ(誓願寺前)

きょう と ふ ぶっ きょう れん ごう かい りっ せい ぶっ きょう だん
京都府仏教連合会・立誠仏教団 共催